

# 縁—えにし—

令和4年1月15日（土）

西東京市立芝久保小学校

4学年 学年通信 道徳授業地区公開講座号

## 道徳授業地区公開講座を実施しました！

今年度の道徳授業地区公開講座は、1月15日(土)の2校時に実施しました。今日の授業を通して、子どもたちに考えてほしいことをお伝えします。また、ご家庭でも、本日の授業についてのお話をしていただければ幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

1 主題名 へらぶなつり（相互理解、寛容）

2 ねらい

広い心で自分と異なる人の立場を受け入れようとする判断力を育てる。

### ■教材「へらぶなつり」のあらすじ

主人公の明は、へらぶなつり大会で優勝したいあまり、父親の宝物である「へらうき」を勝手に持ち出してしまいます。そして、思わぬアクシデントにより、明の友達がへらうきがとれない状態にしてしまいました。友達はわざとそうしたのではないのですが、明はへらうきを父に返せなくなってしまったことにより、友達を責め、さらに謝る友達を許そうとはしませんでした。しかし、帰宅後、父親にへらうきをなくしてしまったことを告げると、明自身は許してもらえたのです。そのとき、何度も謝る友達の顔が思い浮かび、明は電話に向かって走っていきます。

### ■ご家庭で話題にしていきたいこと

4年生は、自他の立場や考え方、感じ方などの違いをおおむね理解できるようになります。しかし、違いを受け止められずに感情的になったり、それらの違いから対立が生じたりすることも少なくありません。

相手の立場や考え方を理解できれば、歩み寄ろうとする心の成長も見られる時期ではありますが、互いの相違に対する気づきを促すには、教師や親などの周囲の大人の手助けが必要です。望ましい人間関係を構築するには、自分の考えを相手に伝えるとともに、自分と異なる考えについて、その背景にあるものは何かを考え、耳を傾けることが大切です。

ご家庭でも、相手の言葉の裏側にある思いを知り、相手への理解を深め、自分もさらに相手からの理解が得られるように思いを伝える相互理解の大切さを、機会のあるごとに話題にしていただけると幸いです。